

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について（K S 2 7）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で18回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

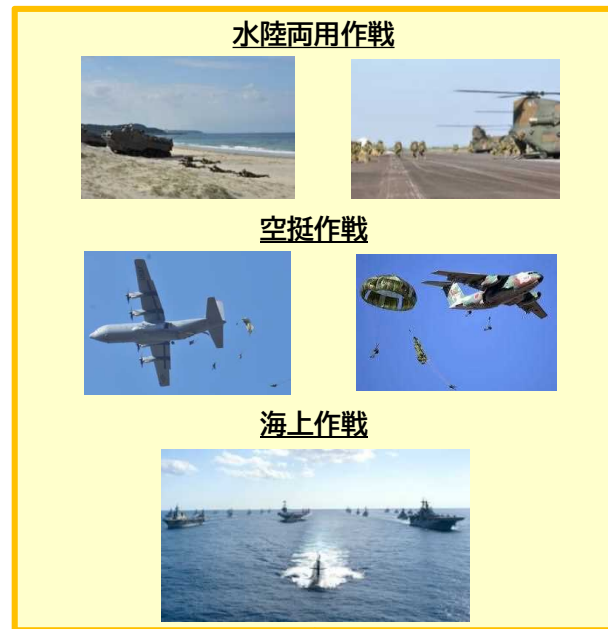
【演習の実施期間】

令和8年10月19日（月）から10月29日（木）までの間（本実施期間の前後 約1週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができます。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について



- その他関連する訓練（日本全国各地）**
- 情報戦
 - 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
 - 陸上作戦
 - サイバー攻撃等対処
 - 宇宙作戦
 - 統合電磁波作戦
 - 統合通信
 - 重要施設等防護（基地警備等）



令和8年度日米共同統合演習（実動演習）の
埼玉県内で実施する主な訓練について

本演習において埼玉県内で実施する主な訓練は、

- ① 陸上作戦（対着上陸戦闘訓練（空挺降下））
- ② 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）
- ③ 重要施設等防護（滑走路（被害）復旧訓練）

を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

埼玉県内で実施を検討している訓練内容

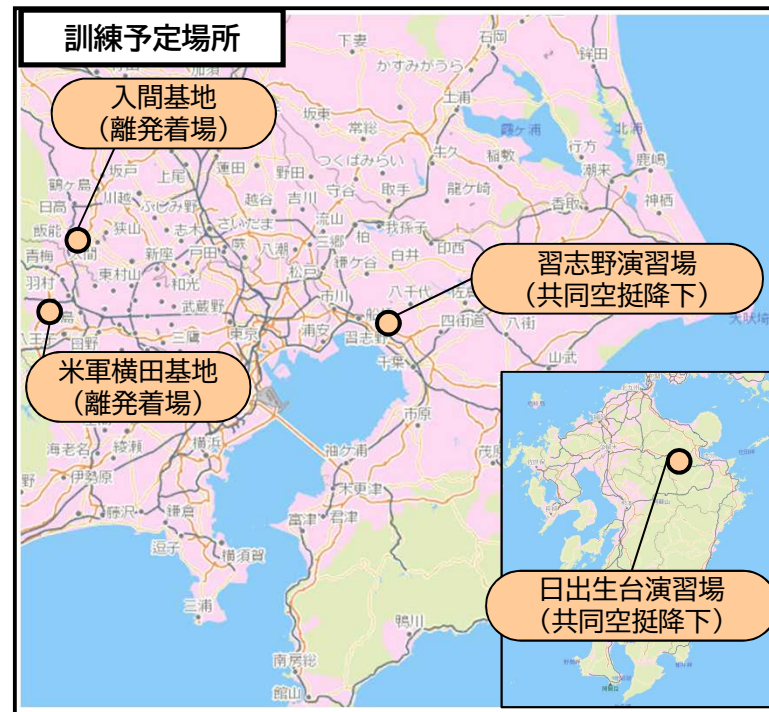
① 陸上作戦（対着上陸戦闘訓練（空挺降下））

陸上自衛隊及び米陸軍の空挺部隊が、米軍の輸送機（C-130J）及び航空自衛隊の輸送機（C-2、C-130H）によって、千葉県習志野演習場及び大分県の日出生台演習場上空から空挺降下訓練等を実施するため、離発着場として横田基地及び入間基地を使用します。

なお、訓練間、武器（小銃等）を携行していますが、空包を使用しません。

【期 間】 令和8年10月24日（土）習志野演習場での空挺降下訓練（離発着場として横田基地使用）
 10月25日（日）日出生台演習場での自由降下訓練（離発着場として入間基地使用）
 10月26日（月）日出生台演習場での空挺降下訓練（離発着場として横田基地及び入間基地使用）
 ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】	区 分	使用航空機
	10月24日（土）	陸上自衛隊：第1空挺団（約60名）、米軍：第11空挺師団（約60名） C-130J×2
	10月25日（日）	陸上自衛隊：第1空挺団（約20名） C-2×1
	10月26日（月）	陸上自衛隊：第1空挺団（約300名）、C-2×2、C-130H×2 米軍：第11空挺師団（約120名） C-130J×2



埼玉県内で実施を検討している訓練内容

② 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）

埼玉県において、航空機により那覇基地及び米軍嘉手納基地から搬送された傷病者を自衛隊入間病院へ収容する訓練を実施します。また、航空自衛隊入間基地内で野外臨時医療施設を開設し、米軍等との共同による治療訓練を実施します。その他、入間基地から近隣自衛隊病院及び部外医療機関へ傷病者を搬送し、連携する訓練を実施します。

【期 間】令和8年10月21日（水）～22日（木）、26日（月）～28日（水）

【参加部隊】共同の部隊等：統合作戦司令部（約5名）、自衛隊入間病院（約100名）、自衛隊中央病院（約10名）

陸上自衛隊：陸上総隊（約150名）、UH-1×1機

海上自衛隊：自衛艦隊（約5名）、US-2×1機

航空自衛隊：航空総隊（約20名）、C-2×1機

そ の 他：米軍（約20名）

ドイツ連邦軍（約100名）、A400M×1機 A321×1機（※）

ニュージーランド軍（約5名）、フィリピン軍（約5名）、オランダ軍（約3名）

さいたま赤十字病院

訓練予定場所



訓練イメージ



(※参考) 入間基地及び百里基地に飛来する独空軍機について

6

独空軍 A 4 0 0 M 輸送機及び独空軍 A 3 2 1 輸送機は、訓練に使用する物資や人員輸送を実施します。

入間基地には、独空軍 A 4 0 0 M 輸送機が 1 0 月 1 5 日に飛来し、1 0 月 2 9 日まで駐機する予定です。

百里基地には、独空軍 A 3 2 1 輸送機が 1 0 月 1 9 日に飛来します。また、1 0 月 2 9 日頃に再度飛来する予定です。

そのほか、独空軍 A 4 0 0 M 輸送機は、人員輸送のため、1 0 月 1 9 日及び 1 0 月 2 9 日頃に、入間基地と百里基地との間を飛行する予定です。



独空軍 A 4 0 0 M 輸送機

大型の戦術・戦略輸送機で、大量の人員・物資を長距離輸送することが可能です。未舗装滑走路や比較的短い滑走路でも運用でき、人道支援、災害救援、空中給油、医療搬送など幅広い任務に対応します。全長 45.1m

全幅 42.4m

全高 14.7m

エンジン 4基



独空軍 A 3 2 1 輸送機

中型の輸送機で、主に人員輸送や医療搬送任務に使用されます。長距離飛行能力を有し、旅客機をベースとした機体のため、快適な機内環境で多人数を輸送することができます。

全長 44.5m

全幅 35.8m

全高 11.8m

エンジン 2基

埼玉県内で実施を検討している訓練内容

② 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）

朝霞駐屯地において、陸上総隊司令部と米軍が日米共同による輸送・補給に係る指揮所訓練を実施します。

【期 間】令和8年10月19日（月）～10月29日（木）

※米軍は、訓練準備として10月1日から来訪し、撤収する11月3日まで滞在する予定です。

【参加部隊】陸上自衛隊：陸上総隊司令部 約10名

米 軍：兵站支援部隊 約40名



イメージ



埼玉県内で実施を検討している訓練内容

③ 重要施設等防護（滑走路（被害）復旧訓練）

陸・空自衛隊の部隊及び米軍が入間基地において、滑走路（被害）復旧訓練を実施します。なお、爆破薬を使用した訓練は実施しません。

【期 間】令和8年10月22日（木）～10月26日（月） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊：第1施設団 約15名

航空自衛隊：中部航空施設隊 約5名、中部航空警戒管制団 約10名、第2補給処 約5名

米 軍：第374空輸航空団 約10名、第5建設大隊 約25名



訓練イメージ

